

# 株主・投資家との対話の実施状況(2025年3月期)

2025年5月

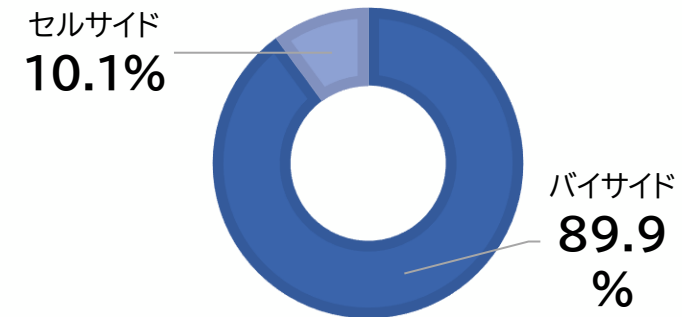
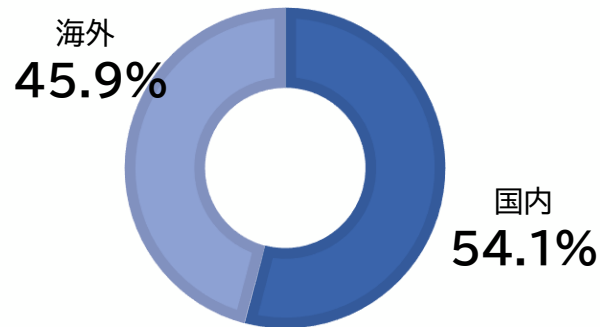


## ◆ 機関投資家との対話 実施概要(2024年4月～2025年3月)

形式	
説明会(機関投資家/アナリスト)	4回(通期決算、食材流通セグメント事業、中間期決算、新中期経営計画)
海外現地IRミーティング	1回
スモールミーティング	2件
施設見学	1回

※上記以外で個別の面談は四半期ごとに対話しております。

## ◆ 対話相手の概要



## ◆ 対話を行った主な対応者

代表取締役社長 / コーポレート部門統括担当取締役常務執行役員 / 経営企画部担当執行役員 /  
水産資源、食材流通、加工食品各セグメント長 / サステナビリティ推進グループ長 / IR担当

## ◆ 株主・投資家との対話の主なテーマや株主の関心事項

経営戦略・成長性	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業ポートフォリオの進捗状況</li> <li>・ROICについて</li> <li>・PBR(株価純資産倍率)の向上について</li> <li>・設備投資や人的資本投資の成長戦略</li> </ul>
個別事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・魚価、水産市況</li> <li>・各事業の需要動向と競争環境の変化</li> <li>・物価高騰に対する価格転嫁の状況</li> <li>・不採算事業の事業戦略</li> </ul>
財務戦略	<ul style="list-style-type: none"> <li>・株主資本コストの妥当性</li> <li>・株主還元の考え方</li> </ul>
ガバナンス・その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策保有株式の保有方針</li> <li>・指名・報酬委員会の開催回数や議論内容の充実</li> </ul>

## ◆ 当社の対応・取組み

<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業ポートフォリオ:10年後を見据えた方針を提示。 (2025/3/24 新長期ビジョン)</li> <li>・ROIC経営の浸透により、投下資本効率を意識した経営を推進(在庫管理の徹底等、運転資金効率の改善を進める)。</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・構造改革の推進:不採算事業の整理などを含め、事業の選択と集中を図り、持続可能な事業構造への転換と安定収益の確保に向けた構造改革を進めていく方針を提示。 (2025/3/24 中期経営計画)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・株主還元:株主への利益還元を経営の重要施策と位置づけ今後3年間は配当性向30%以上(累進配当)を目標とすることを発表。(2025/3/24 中期経営計画)</li> </ul>
<ul style="list-style-type: none"> <li>・政策保有株式:資産圧縮による収益性の向上を目的に2026年3月期末を目安に、3分の2以上の売却を計画。</li> </ul>

## ◆ 経営陣や取締役会へのフィードバック体制

個別ミーティングの内容は、まず議事録を通じて速やかに関係者と共有(フィードバック)しております。

そのうえで、四半期ごとにIR活動全体のまとめとして、主な質問や対応状況を整理し、経営会議および取締役会に報告しております。

また、株主分布の状況及び実質株主(国内外機関投資家)の判明調査結果を1年に1度報告しております。

内容	頻度	報告方法
投資家・アナリストとの面談	適宜、四半期	経営会議・取締役会にて直接
アナリストレポート	適宜	メール
IR活動報告および年間計画の進捗報告	四半期	経営会議・取締役会にて直接



**MARUHA NICHIRO**

For the ocean, for life